

## 4 - 12 供給処理施設

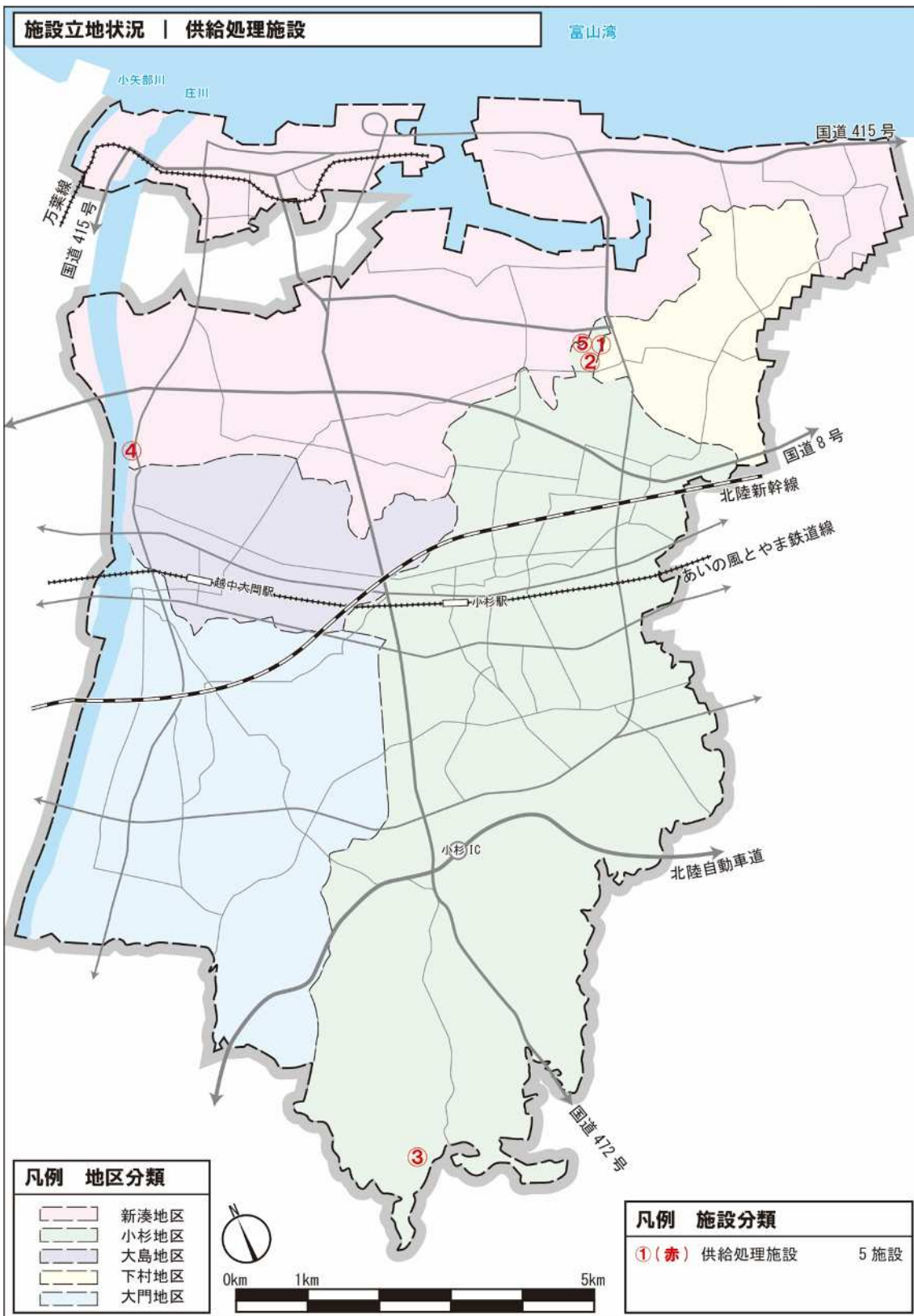
### (1) 施設類型概要

#### 1) 施設立地状況

本市の供給処理施設は5施設あり、新湊地区に1施設、小杉地区に4施設立地しています。

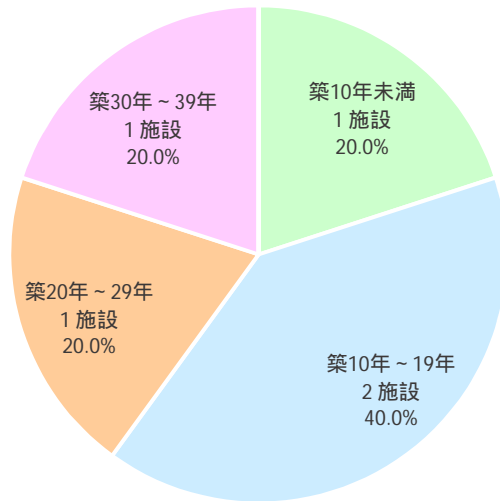
構造凡例 S：鉄骨造,RC：鉄筋コンクリート造,SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、W：木造

施設分類	施設数		施設名	所有 状況	管理 形態	代表建築 年度	経過 年数	耐震 補強	総延床面積 (㎡)	代表建築 物構造
供給処理 施設	5施設	1	クリーンピア射水	市有	長期包括	H14	13	不要	9,221.24	S
		2	ミライクル館	市有	市直営	S55	35	不要	3,598.97	S
		3	野手埋立処分所	市有	長期包括	H21	6	不要	873.16	S
		4	衛生センター	市有	市直営	S62	28	不要	3,698.00	RC
		5	クリーンピア射水温泉施設	市有	長期包括	H14	13	不要	210.62	S
		合計							17,601.99	



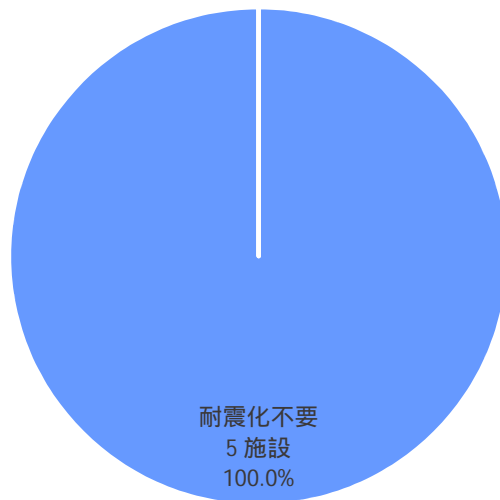
## 2) 経過年数

供給処理施設で建物を有する施設は5施設あり、その建築後の経過年数は以下のとおりです。



## (2) 耐震化率

供給処理施設5施設の耐震化率については、以下のとおりです。



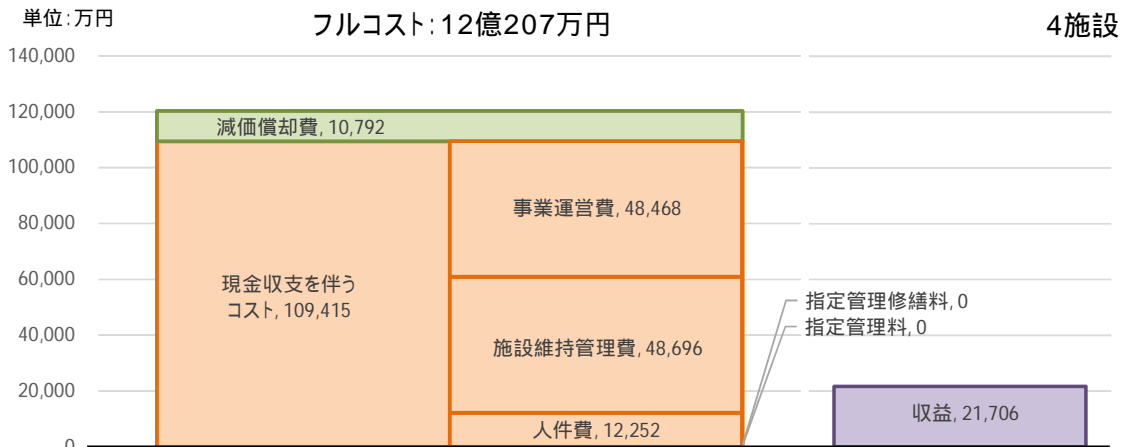
### (3) フルコストの状況

供給処理施設は5施設あり、減価償却費を含む平成26年度の年間フルコストは、12億207万円です。

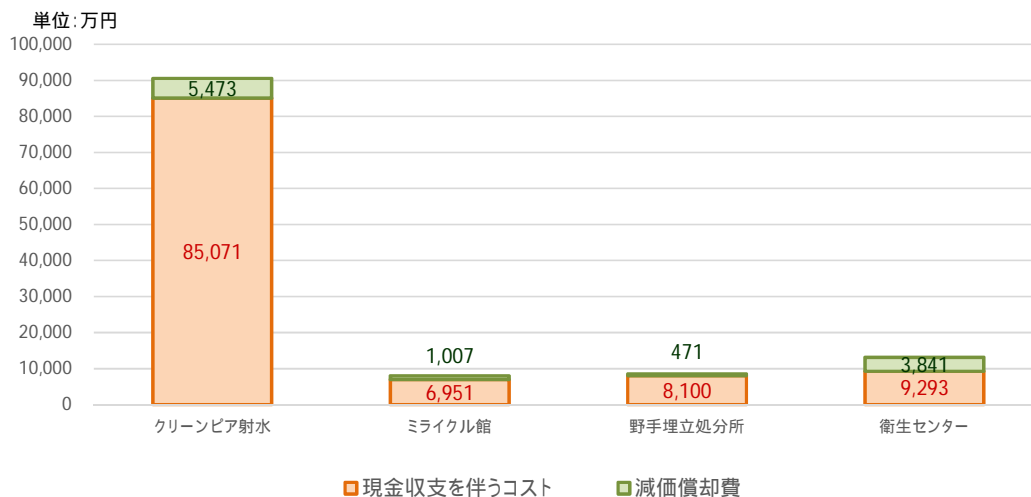
なお、クリーンピア射水温浴施設のコストについては、クリーンピア射水に一括して計上しています。

施設名	合計	(単位:千円)				
		1 クリーンピア射水	2 ミライクル館	3 野手埋立処分所	4 衛生センター	5 クリーンピア射水温浴施設
指定管理料						
指定管理修繕料						
人件費	122,521	32,834	46,298		43,389	
報酬						
共済費	2,774	217	2,087		470	
賃金	17,983	1,305	12,899		3,779	
正規職員人件費	101,764	31,312	31,312		39,140	
施設維持管理費	486,958	405,856	5,279	40,298	35,524	
修繕費	10,835		2,061		8,774	
光熱水費	20,908		2,703		18,205	
燃料費	77		24		53	
建物管理委託料	454,873	405,856	492	40,284	8,241	
その他の経費	265			14	251	
事業運営費	463,439	409,405	13,689	40,284	60	
其他物件費等	21,237	2,612	4,244	422	13,959	
(A) 現金収支を伴うコスト計	1,094,154	850,707	69,510	81,004	92,933	
(B) 減価償却費	107,918	54,725	10,074	4,711	38,407	
(C) フルコスト (A)+(B)	1,202,072	905,433	79,584	85,715	131,340	
使用料	1,892	31		524	1,337	
使用料以外の其他収入	215,163	156,035	59,084	43	2	
(D) 収益計	217,055	156,066	59,084	567	1,339	
ネットコスト (C)-(D)	985,017	749,367	20,500	85,148	130,002	

#### 【フルコストの内訳】

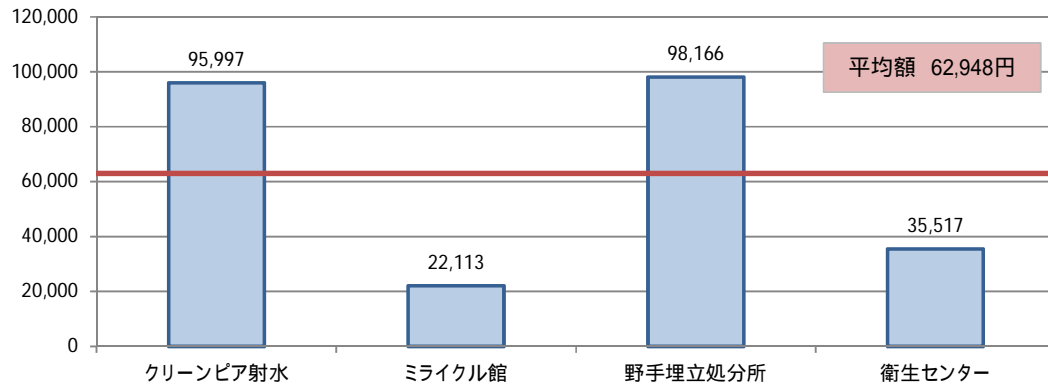


#### 【施設別のフルコスト】



### 【施設別の延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりのフルコスト】

単位:円



#### ( 4 ) 施設の現状

##### 建物状況

- ・クリーンピア射水は、全連続燃焼式流動床炉 3 炉、プラズマ溶融炉 1 炉を有した施設で、平成 15 年に稼働を開始しました。
- ・ミライクル館のプラザ棟は、各種研修・講演・会議などに利用できる研修室、リサイクル体験のできる体験工房室、パソコンによる環境学習コーナー等があり、処理棟は、金属缶や紙製容器包装、ペットボトル、プラ製容器包装などの精選や圧縮・梱包・保管ができる施設になっています。
- ・野手埋立処分所は、平成 19 年から 21 年の 3 カ年で抜本的再整備工事を実施し、現行の耐震基準を満たした貯留構造物の補強、埋立地の拡張整備、逆浸透膜(RO)処理による浸出水処理設備、降雨量を調整するための調整槽(4,000 t)の新設など施設を拡充しています。
- ・衛生センターは、昭和 62 年 9 月に処理能力 1 日 116KL のし尿処理施設として、更新されましたが、老朽化が進んでいます。

##### コスト状況

- ・施設の管理・運営について、運転管理から薬品・燃料等の調達や設備の補修まで包括的に複数年継続契約することで、民間事業者の創意工夫の余地を広げ、専門性やノウハウを生かした効率的で安定した運營業務の遂行ができる委託形式である長期包括運營業務委託を、クリーンピア射水は平成 20 年度から、野手埋立処分所は平成 26 年度から導入しています。